

1 人材の育成等

<ねらい> 文化の担い手や次世代を担う子どもたちの育成とともに、文化に関する教育の充実を図ります。

事業名	H28実績	H29取組状況	評価指標(案)
新人演奏会 (生活文化課)	<ul style="list-style-type: none"> オーディション参加者数：38人 本演奏会出演者：15人 新人賞：1人，奨励賞：1人，聴衆賞：1人 本演奏会入場者数：628人 ※文化芸術体験出前講座の講師派遣：35人 ※新人演奏会管弦楽団の結成，コンサートの開催(1月) 	<ul style="list-style-type: none"> 本県出身の若手演奏家に発表の機会を提供し，将来の文化を担う人材の育成を図る。 引き続き，新人演奏会管弦楽団コンサートの開催，「茨城国際音楽アカデミーinかさま」への参加支援及び「文化芸術体験出前講座」における講師派遣など，若手演奏家の更なる活動の機会を提供し，活動のPRに努める。 <p><H29実績></p> <ul style="list-style-type: none"> オーディション参加者数：40人 本演奏会出演者：15人 新人賞：2人，奨励賞：1人，聴衆賞：1人 本演奏会入場者：640人 	<ul style="list-style-type: none"> オーディション参加者数 受賞者のその後の活動
高校生のための公開レッスン (生活文化課)	<p>[第1回(7/2開催)]</p> <ul style="list-style-type: none"> 受講校：勝田高・土浦一高・並木中等合同弦楽合奏団 入場者数：217人 <p>[第2回(10/10開催)]</p> <ul style="list-style-type: none"> 受講校：水戸三高 入場者数：433人 	<ul style="list-style-type: none"> 高校生を対象に世界的な演奏家である水戸室内管弦楽団による公開レッスンを実施し，高校生の演奏技術や指導者の指導技術の向上を図る。 さらに，レッスン終了後には，講師によるミニコンサートを実施し，質の高い演奏を聴く機会の提供を図る。 <p><H29実績></p> <p>[第1回(6/24開催)]</p> <ul style="list-style-type: none"> 受講校：茨城県高等学校選抜吹奏楽団2017 入場者数：431人 <p>[第2回(2/10開催予定)]</p> <ul style="list-style-type: none"> 受講校：茨城高校 	<ul style="list-style-type: none"> レッスン受講者数 アンケートによる意見等(満足度)
文化芸術体験出前講座 (生活文化課)	<ul style="list-style-type: none"> 音楽(弦楽器・金管楽器・邦楽器・オペラなど)：60校(75校) 美術(絵画・書・陶芸)：18校(18校) 伝統文化(茶道・華道)：19校(19校) <p>合計：97校(112校)</p> <p>※()は応募校数</p>	<ul style="list-style-type: none"> 県内の小中高校・特別支援学校で音楽・美術・伝統文化の出前講座を実施し，若手芸術家等の活躍の場を提供するとともに，児童生徒が本格的な文化芸術に触れる機会を提供する。 H29より私立・国立校も募集対象とするとともに，文化芸術活動団体と学校との連携を図りながら事業を拡充している。 <p><H29予定></p> <ul style="list-style-type: none"> 音楽：実施校60校(100校) 美術：27校(27校) 伝統文化：19校(19校) <p>合計：106校(146校)</p> <p>※()は応募校数</p>	<ul style="list-style-type: none"> 応募校数 受講者数

2 文化の振興

<ねらい>

茨城の文化を高め、その魅力を国内外に発信し、本県文化のブランド力を確立します。また、新たな文化を創造し、地域の活性化を図ります。

事業名	H28実績	H29取組状況	評価指標(案)
茨城県芸術祭 (生活文化課)	<ul style="list-style-type: none"> ○美術展覧会, 合唱演奏会, 県民コンサート外 多種多様な種目(7部門)を実施 ・参加者数: 8,339人 ・入場者数: 30,217人 ・開催市町村数: 8市町村 	<ul style="list-style-type: none"> ・県民が優れた芸術創作活動の成果を発表・展示するとともに、県民へこれらを鑑賞する機会を提供することにより心豊かで潤いのある生活を実現とすることができるよう、芸術祭を開催する。 ・さらに、県広報紙, NHKデータ放送, 新聞等を活用した積極的な広報に取組み, 集客力の増加に努める。 <p><H29予定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間: H29.9.22~H30.1.21 ・授賞式: H29.11.12, 県民文化センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者数 ・入場者数 ・アンケートによる意見等(満足度) ・新聞論評等
海外オペラガラコンサート (生活文化課)	<ul style="list-style-type: none"> ○エディタ・グルベローヴァ公演の開催 ・日時: H28.10.19 ・場所: 県民文化センター ・入場者数: 803人(入場率53%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・本格的で質の高い海外オペラ公演を低廉な価格で提供することで、県民の文化芸術活動の活性化を図る。 ・さらに、学生専用席を設けて学生の鑑賞機会を確保するなどして、より多くの県民に優れた文化の鑑賞機会を提供する。 <p><H29予定></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ハンガリー国立歌劇場「こうもり」の開催 ・日時: H29.10.25 ・場所: 県民文化センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・入場者数 ・アンケートによる意見等(満足度)
茨城国際音楽アカデミーinかさまコンサート	<ul style="list-style-type: none"> ○第13回茨城国際音楽アカデミーinかさま水戸公演(3/19, 県民文化センター) ・入場者数: 1,362人(入場率90.8%) ○水戸公開レッスン(3/20, 常陽芸文センター) ・入場者数: 214人 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際的に活躍できる音楽家の育成を図るため、世界トップクラスの実績を誇る講師を招聘してレッスンを実施する。 <p><H29予定></p> <ul style="list-style-type: none"> 第14回茨城国際音楽アカデミーinかさま水戸公演 ・日時: H30.3.24 ・場所: 県民文化センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・水戸公演の入場者数 ・受講生を対象生にしたアンケートによる意見等(満足度)
アークスプロジェクト推進事業 (地域計画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・応募件数: 656件(89ヶ国・地域) (招聘数2名/毎年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外現代芸術分野の若手アーティストの招聘と県民が身近に芸術に触れる機会を提供することにより、地域の活性化と本県のイメージアップを図る。 ・さらに、全国のアート団体や水戸芸術館, 東京藝大等と連携を図り、茨城のアートを全国に発信する。 <p><H29実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募件数: 717件(85ヶ国・地域) (招聘数3組(4名)) 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流事業等参加者数

3 文化的資産の活用等

<ねらい> 地域の文化的資産を観光・産業振興や地域振興等に積極的に活用します。また、文化財の適切な保護・継承を図ります。

事業名	H28実績	H29取組状況	評価指標(案)
伝統文化データベースの活用 (生活文化課)	○アクセス数：7,568件	・県内の伝統文化情報を収集し、名称、所在地、ジャンル別にまとめ、データベースを追加・更新している。引き続き、市町村と連携し、情報を発掘し内容の充実に努める。	・アクセス数

4 文化活動の充実

<ねらい> 多くの人々が身近な場所で、様々な文化に触れ親しみ、鑑賞し、参加し、創造することができる環境づくりを図ります。

事業名	H28実績	H29取組状況	評価指標(案)
移動展覧会 (生活文化課)	○板東郷土館ミュージズ(9/4～9/11) ・入場者数：440人 ・展示作品：日本画、書 ○日立シビックセンター(11/15～11/20) ・入場者数：1,323人 ・展示作品：芸術祭入賞作品 ○つくば美術館(1/7～1/15) ・入場者数：1,387人 ・展示作品：洋画、彫刻 ○潮来市立水郷まちかどギャラリー(2/22～2/26) ・入場者数：403人 ・展示作品：工芸美術、写真	・芸術家の作品発表の機会や県内各地で広く県民が美術を鑑賞できる機会を提供する。 ・より一層集客を図るため、開催市町村と連携した広報やHPはもとよりSNSなど効果的な媒体による情報提供に努める。 <H29実績> ○天心記念五浦美術館(6/28～7/9) ・入場者数：2,050人 ・展示作品：日本画、洋画、彫刻 ○陶芸美術館(7/12～7/17) ・入場者数：615人 ・展示作品：工芸美術 ○古河街角美術館(8/19～8/27) ・入場者数：393人 ・展示作品：書、写真、デザイン ○つくば美術館(10/24～10/29) ※予定 ・展示作品：芸術祭入賞作品	・入場者数
ナイスハートふれあいフェスティバル (障害福祉課・特別支援教育課)	一般の部(障害福祉課) ・開催期間：12/8～12 ・開催内容： 合奏、ダンス等の発表(10団体) 美術展(455点) 入場者数(5,300人) 学校教育の部(特別支援教育課) ・開催期間：12/9～12 ・開催内容： 学習発表会(合奏、ダンス等の発表：参加団体15、 入場者数1,750人) 美術展(作品数4,222点) 見学者(3,064人)	・12月3日から12月9日までの障害者週間の主旨に合わせて行う行事として、障害児者による音楽・ダンス等の文化活動の発表及び障害児者の制作した作品の展示等を行い、障害児者の福祉の向上と県民の障害児者に対する理解と認識を深める。	・参加者数 ・参加校数 ・入場者数
親子を対象としたオーケストラコンサート (生活文化課)	○日立シビックセンター(8/6) ・入場者数：535人(入場率65%) ○龍ヶ崎市文化会館(9/3) ・入場者数：894人(入場率75%) ※新人演奏会の優秀者をオーケストラの演奏者に加えている。	・4歳児以上の親子を対象にコンサートを開催し、感受性豊かな子どもたちに鑑賞機会を提供する。 ・多くの子育て中の保護者が気軽に幼児を連れて楽しめるコンサートを実施する。 <H29実績> ○鹿島勤労文化会館(8/5) ・入場者数：550人(入場率73%) ○東海文化センター(8/6) ・入場者数：470人(入場率59%)	・入場者数

5 文化活動の支援体制の充実等

<ねらい>

多様な主体と連携し、文化振興施策の総合的な推進を図ります。また、文化情報の効果的な発信や文化施設の機能の充実、地域の文化活動の支援等を図ります。

事業名	H28実績	H29取組状況	評価指標(案)
県立美術館・博物館等の展示事業等 (生活文化課・文化課)	○入館者数 ・歴史館：91,088人 ・近代美術館：139,811人 ・つくば美術館：45,539人 ・天心記念五浦美術館：120,514人 ・陶芸美術館：55,346人 ・自然博物館：446,101人 ・大洗水族館：1,134,313人 ・県民文化センター：604,882人	・県民が多様な文化を創造・発表したり、参加・体験したり、鑑賞したりする拠点として、美術館や博物館等の機能を充実させ魅力アップを図るため、計画的な施設整備や維持・保全・公演、展示内容の充実や専門的人材の育成、サービスの向上を行う。	・入館者数 ・アンケート等による意見等（自主企画展等の鑑賞者満足度）
大好き いばらき 生活情報システム整備事業 (生活文化課)	・HP「大好きいばらき生活文化情報ネット」の修正・更新：随時 ・ツイッター「あーかる茨城」を開始した。	・HPシステムのバージョンアップや芸術文化情報の新規掲載、更新などを行う。 ・県民ニーズに対応した多種多様な情報発信の提供に取り組む。	・HPのアクセス数 ・ツイッター（あーかる茨城）のフォロワー数

6 いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会及び東京オリンピック・パラリンピックを契機とした文化の向上

<ねらい>

大会イベント等を通じて、茨城の魅力を発信し、文化の振興と地域の活性化を図ります。さらに、大会終了後の文化活動と地域の継続的な活性化につなげます。

事業名	H28実績	H29取組状況	評価指標(案)
茨城県文化プログラム推進事業 (生活文化課) 期間：H29～H32	H29新規事業のため実績なし。	○文化プログラムの認証 ・「東京2020参画プログラム」や「beyond2020プログラム」の事業認証を進め、文化プログラムの周知、開催機運の醸成を図る。 ○県民企画公募事業 ・県民の企画提案による茨城発の文化プログラムを実施するため、企画公募を行う。 ○子ども文化芸術大学 ・小中学生へトップクラスの文化芸術に触れる機会を提供するため、本県出身の芸術家を講師に迎え、ワークショップ等による講座を開催する。 <H29予定> ・実施時期：10月～1月 ・開催場所：県内5市（10校） ○障害者等への効果的な文化情報システム提供に向けた調査事業 ・視覚・聴覚障害者等が美術館などの文化施設で容易に情報を共有できるなど、文化に触れ合うための施設の機能の検証、新たな仕組みの導入に向けた調査研究を実施する。 <H29予定> ・文化施設の現状、課題把握 ・施設関係者等との意見交換 ・文化情報提供に関する基本方針の策定	・取組の成果等によるレガシーの創出 ・アンケート等による意見等（満足度）